

肉用牛経営の発展をめざして研修会を開催

～魅力ある京都産和牛子牛を増やそう！～

12月21日に和牛繁殖農家や関係者45名が集まり、子牛の話題を中心とした「肉用牛経営向上技術研修会」を京都府畜産振興協会との共催で開催しました。

本研修会は、和牛繁殖農家の技術向上と情報交換を目的に毎年開催しており、今年度は、子牛の「衛生管理」と「飼養管理」や「飼料情勢」について、JA全農家畜衛生研究所の斎藤獣医師と、JA西日本くみあい飼料株式会社の西尾課長からそれぞれ講演をいただき、病気を出さないための飼育方法や大きく育てるための空腹感のコントロールなど、農家がすぐに実践できそうな助言をいただきました。

また、情報提供として、畜産センターから子牛の体温モニタリング装置の開発について、碓高原牧場からは京都府和牛受精卵の生産状況と受精卵産子の成績について、それぞれ報告を行いました。

各農家や関係者とも関心が高く、濃密で反響の大きな内容となりました。



研修会の様子

畜産センター
碓高原牧場